

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を使用する。ウォームアップ場での練習は競技役員の指示によって行う。
- (2) 本競技場並びに補助競技場は全天候舗装のためスパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。
- (3) 更衣は、本競技場内、男女更衣室を準備する。貴重品は各自で管理する。
- (4) 救護本部は本競技場内1階に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は本競技場第3ゲート(200mスタート側)出入口付近に設ける。ただし、棒高跳のみ、棒高跳のピットで招集を行う(選手は第4ゲート(100mスタート後方)より入場する)。
- (2) 招集完了20分前から待機できる場所を設ける(四種競技を除く)。
- (3) 招集完了時刻は、その種目の1組目の競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

予選・準決勝						決勝
100m 200m 400m 800m 100mH 110mH		1500m 4×100mR		3000m		トラック (全種目)
組	招集完了時刻	組	招集完了時刻	組	招集完了時刻	招集完了時刻
1～3	20分前	1～2	20分前	1	20分前	20分前
4～6	5分前	3～4	5分前	2	5分前	
7～9	10分後	5～6	10分後	3	10分後	
10～12	25分後	7～8	25分後	4	25分後	
13	40分後	9	40分後	5	40分後	
				6	55分後	
フィールド競技種目				招集完了時刻(予選)		決勝
砲丸投				40分前		30分前
走高跳				60分前		40分前
走幅跳				60分前		40分前
棒高跳				-		90分前
四種競技トラック種目				上記該当種目と同様		
四種競技フィールド種目				上記該当種目予選と同様		

(4) 招集の手順

- ① 競技者は招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない。
(競技規則144条3(b)(c))
- ② 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻10分前までに、二種目掃除出場届に記入し、競技者係に提出する。なお、用紙は招集所及びTICに用意する。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- ④ 四種競技者は、最初の種目のみ招集所で(4)の①に従い競技者係の点呼を受けるが、以後の2番目の種目からは、混成競技者控室で混成競技係の点呼を受ける。招集完了時刻は、上記(3)の招集完了時刻を示した表で確認する。
- (5) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する各中学校の監督がその旨を欠場届に記入し、競技者係に提出する。なお、用紙は招集所及びTICに用意する。
- (6) 2種目同時に出場する競技者は「二種目同時出場届」を競技者係へ提出することで、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順序を変更することができる。試技順序を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は「パス扱い」となる。走高跳・棒高跳においては、

事前に申告すれば「無効試技扱い」とみなす。ただし、走幅跳及び砲丸投の最終ラウンドについては、異なる順序で試技を行うことは認めない（R142-3 [注意]）。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、当該審判長（または技術代表）の判断により、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順序は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) 四種競技の最終種目は、3種目終了時の得点合計上位者が含まれるように編成し、レーンシード方式によりレーンを決定する。
- (4) タイムにより、次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が同記録者の1/1000秒の実時間を判定して進出者を決める。その結果、着差がないときは、レーンに余裕がある場合は次のラウンドへ進出させる。レーンに余裕がない場合は同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う（競技規則167条）。
- (5) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする（競技規則162条7、及び200条8(c)）。
- (6) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。メンバー変更については、競技規則170条10を適用する。なお、用紙はプロ巻末のリレーオーダー用紙を用いる。
- (7) リレー競技においては、同系色のユニフォームを着用する。
- (8) 4×100mリレーの競技者は、主催者が用意したリレーマーカーを1箇所、自らのレーン内に置くことが許される。それ以外のマーカーの使用は認められない。その撤去は審判員が行うものとする。
- (9) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (10) 男子3000m決勝は、グループスタートとする。
- (11) トラック競技の全種目については、スタート地点で脱いだ衣類などは指定されたものに入れる。なお、衣類などはフィニッシュ地点に係員が運搬する。ただし、400m、800mの競技者を除く。また、リレー競技については予選の第4走者と決勝の全員について衣類を運搬する。
- (12) フィールド競技の予選及び四種競技のフィールド種目については2ピットで行う（ただし、四種競技男子は1ピットで行う）。また、競技場の条件、出場人数によっては、1ピットで行う場合もある。
- (13) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行う。
- (14) 跳躍種目及び砲丸投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備した規定のマーカーを2個まで置くことができる。砲丸投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。これらのその撤去は使用した競技者が責任をもって行う。
- (15) 競技者に対する助力については、競技規則第144条2を適用する。
- (16) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則146条に従って定められた時間内に、各校監督がTICに申し出る。その後、総務員を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

5 競技場の入退場について

- (1) 入場はすべて競技役員の誘導による。
- (2) 走り終わった者は100mフィニッシュ側の第1ゲートより退場する。ただし、リレー走者は競技役員の指示に従って決められたゲートより退場する。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場する。

6 ナンバーカードについて

- (1) 男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。腰ナンバー標識は白地に黒文字とする。
- (2) ナンバーカードは配付されたままの大きさとユニフォームの胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目（四種競技の走高跳含む）の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (3) 四種競技に出場する競技者は、最終種目のみ主催者が準備した専用ナンバーカードをつける。ナ

ンバーカードについては、最終種目の点呼時に配付する。なお、胸ナンバーカードは3種目終了時までの順位を示し、腰ナンバー標識はレーンを示すものとする。

7 予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子	1m65	—	6m55	13m00
女子	1m48		5m45	12m50

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、第180条22または第181条8を適用する。なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

(1) 予選

	練習	競技
男子走高跳	1m40	1.45 — 1.50 — 1.55 — 1.60 — 1.65
女子走高跳	1m20	1.25 — 1.30 — 1.35 — 1.40 — 1.45 — 1.48

(2) 決勝

	練習	競技
男子走高跳	1m55	1.60 — 1.65 — 1.70 — 1.73 …以後3cmずつ
女子走高跳	1m30	1.35 — 1.40 — 1.45 — 1.48 …以後3cmずつ
男子棒高跳	2m30 3m30 4m30	2.40 — 2.60 — 2.80 — 3.00 …以後10cmずつ
男子四種 走高跳	1m30 1m50	1.35 — 1.40 — 1.45 — 1.50 — 1.55 — 1.60 — 1.63 …以後3cmずつ
女子四種 走高跳	1m10 1m30	1.15 — 1.20 — 1.25 — 1.30 — 1.35 — 1.38 …以後3cmずつ

- ①走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、四種競技には適応しない。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- ③棒高跳の支柱移動申請用紙は、招集完了時刻までに競技者係に提出する。なお、用紙は招集所およびTICに用意する。
- ④棒高跳では練習の高さを3段階、四種競技では練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者側が用意したものを使用しなければならない。

10 表彰について

- (1) 各種目の表彰は、第8位までの入賞者は競技役員の手配に従い、表彰控室で待機する（各種目の表彰は、決勝終了後インタビューを経て行う）。
- (2) 各種目の第1位に賞状とメダルを、第2位から第8位までに賞状を授与する。
- (3) 個人種目については、各競技終了後の種目表彰の中で、リレー種目については3日目終了後の閉会式の中で行う。

11 商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守る。
 - ①上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ②下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のもの1ヶ所とする。

③バッグ …… 製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12 閉会式について

7月18日(月)競技終了後15時15分から引き続き行うので、競技場内に整列する。なお、雨天の場合は雨天走路にて行う。

13 その他

(1) 記録の発表について

アナウンスとスクリーンで発表する。また、掲示板への掲示による発表も行う。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時刻とする。

(2) 応援について

①競技の妨げになるような応援は禁止する。競技役員の指示に従う。

②メインスタンドでの集団応援は禁止する。

③フィールド競技進行中は、メガホンなどを使用した応援や集団応援は禁止する。

(3) のぼり旗・応援横幕の設置は、「のぼり旗・応援横断幕管理運営要項」に従う。

(4) テント・シートの設置は、許可された場所以外へのテント等の設置を禁止する(緊急時の避難通路確保のため)。

(5) ゴミは各自持ち帰りを原則とする。

(6) 公園内にあるコンセントの使用は禁止する。

(7) 提出書類および記録証明書は次の通りである。

	提出書類	提出場所・担当	提出時刻
①	欠場届	競技者招集所	招集完了時刻の10分前まで
②	二種目同時出場届け	同上	第1種目の招集完了時刻10分前まで
③	リレーオーダー用紙	同上	第1組の招集完了60分前まで
④	リレーオーダー変更用紙 医務証明書	同上	招集完了時刻まで
⑤	棒高跳支柱移動申請用紙	同上	招集完了時刻まで
⑥	抗議(口頭にて)	TIC(抗議担当総務員)	正式発表後30分以内 (同一日に次のラウンドが行われる競技では15分以内)
⑦	上訴申立書(預託金1万円を添えて)	TIC(抗議担当総務員)	次のいずれかの時点から30分以内 (a) 審判長裁定により結果が変更された場合は、その結果が公式発表されたとき (b) 結果が変更されなかった場合は、抗議者に対してその旨の通知が行われたとき (同一日に次のラウンドが行われる競技では、審判長の裁定から15分以内)

(8) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。

①保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。

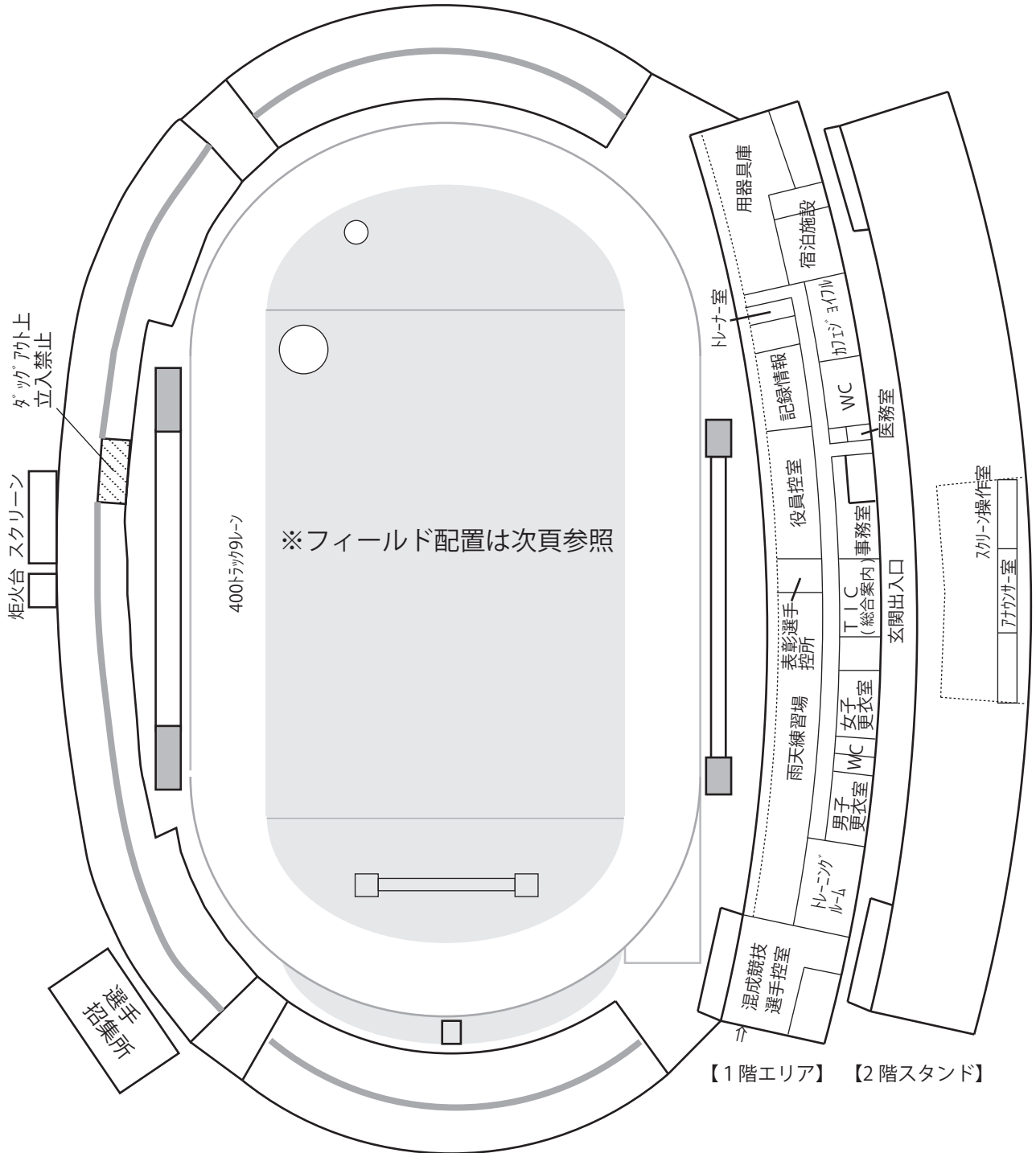
②次の場合の撮影を禁止する。

- ・禁止された区域での撮影。
- ・競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。
- ・試技を待っている間や、身体を動かしているときなど。

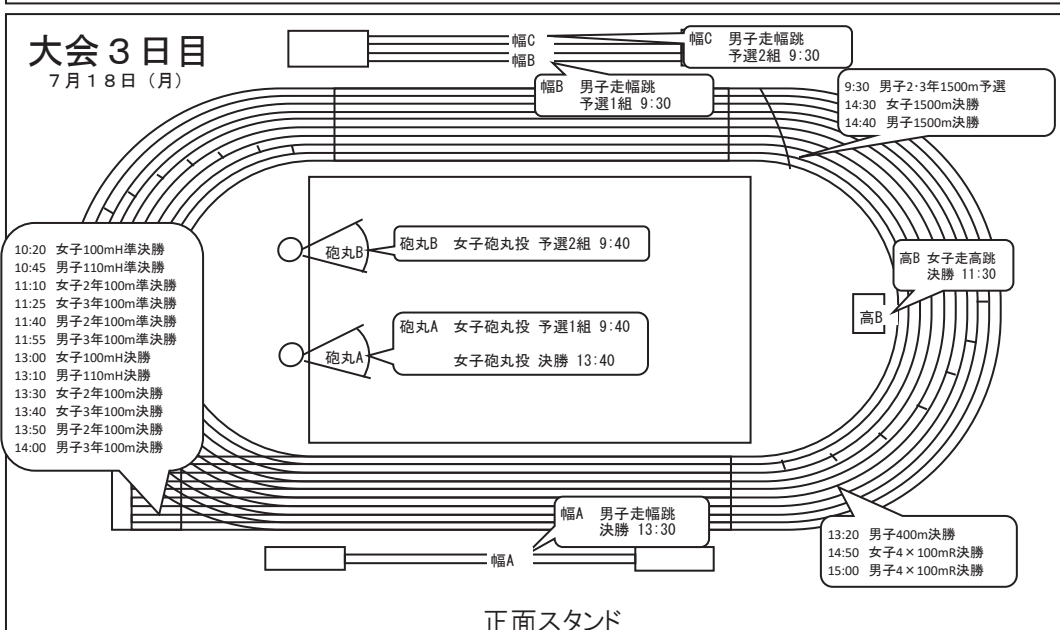
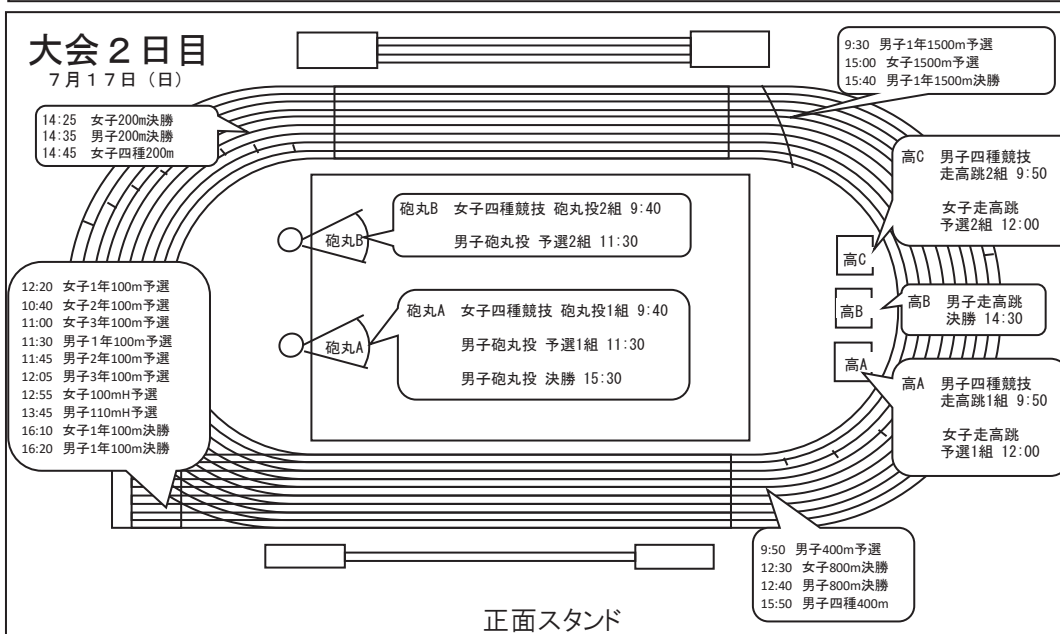
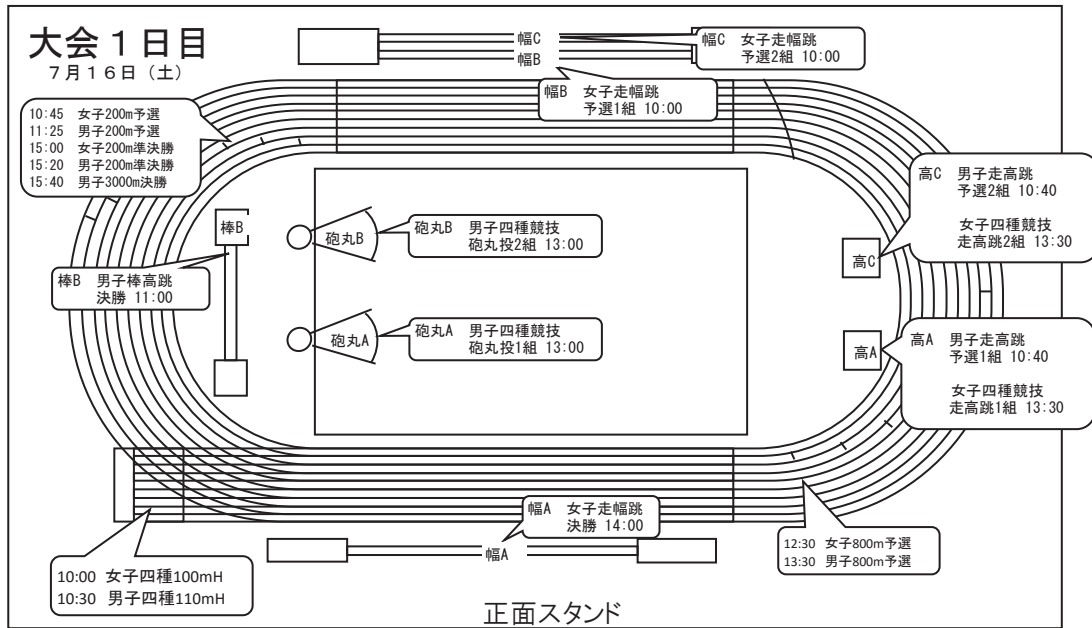
競技場配置図

注意) 通常の県内大会と「選手招集所」の場所が異なります。

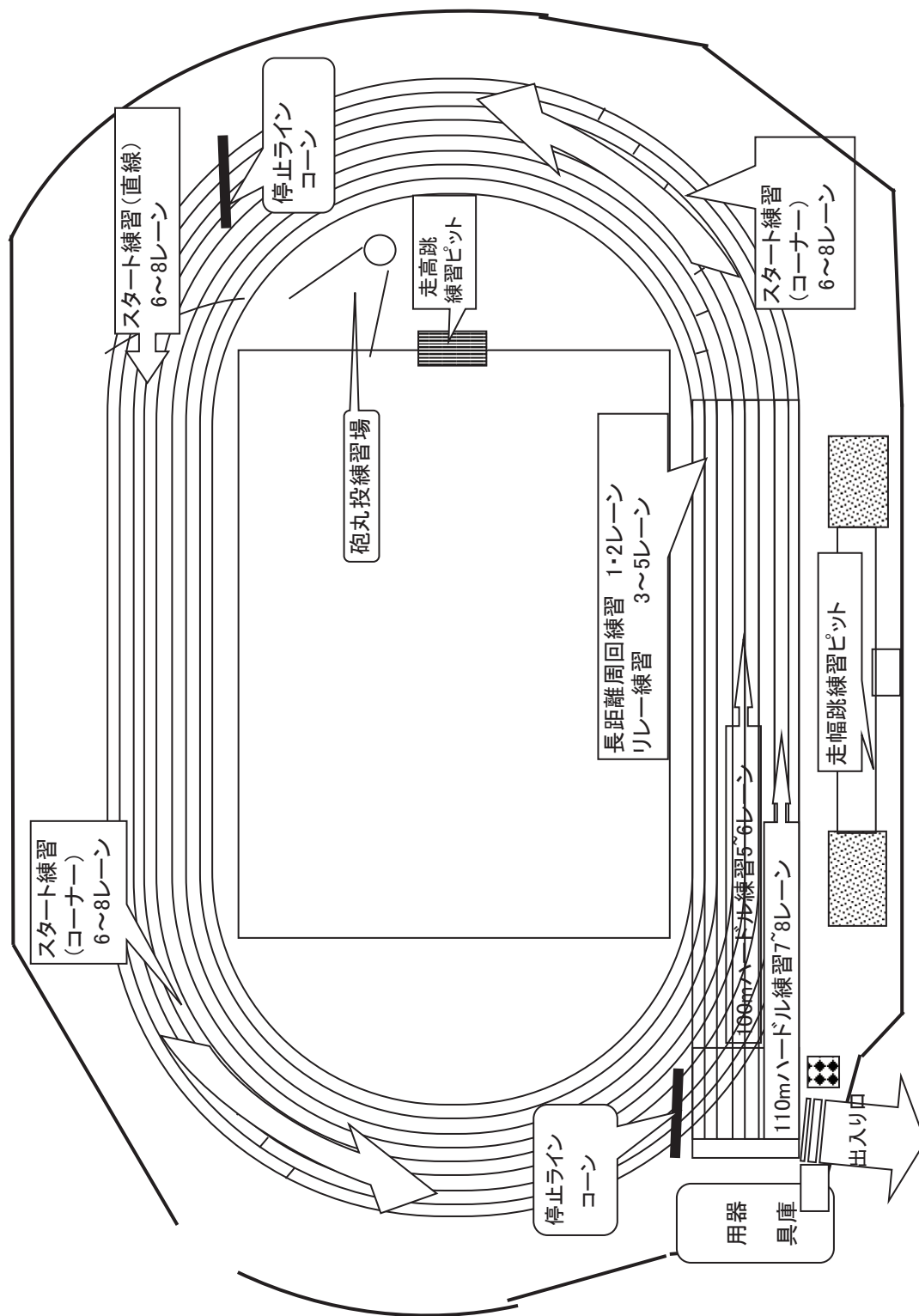
(補助競技場)



競技場配置図



補助競技場配置図



公開練習要項

【本競技場：松本平広域公園陸上競技場】

1 日時

7月16日(土)	7:30～	8:50	トラックと芝生のみ
7月17日(日)	7:30～	8:40	トラックと芝生のみ
7月18日(月)	7:30～	8:30	トラックと芝生のみ

※競技日に本競技場での練習が行えるのは、該当日に競技が予定されている選手に限る。

2 使用方法

(1) ホームストレート

1～2レーン	周回練習レーン (アップやペースの遅いジョギングは芝生内で行ってください。)
3～5レーン	スタートダッシュレーン スターティングブロック設置
6～7レーン	100mH 練習レーン スターティングブロック設置
8～9レーン	110mH 練習レーン スターティングブロック設置

(2) 第1曲走路～バックストレート～第2曲走路

1～2レーン	周回練習レーン (アップやペースの遅いジョギングは芝生内で行ってください。)
3～6レーン	リレー・短距離レーン
7～9レーン	スタートダッシュレーン スターティングブロック設置

※事故防止のため、3～9レーンにおいては、第2曲走路からホームストレートへ走り込むことを禁止する。同じく、7～9レーンにおいては、第1曲走路からバックストレートへ走り込むことを禁止する。

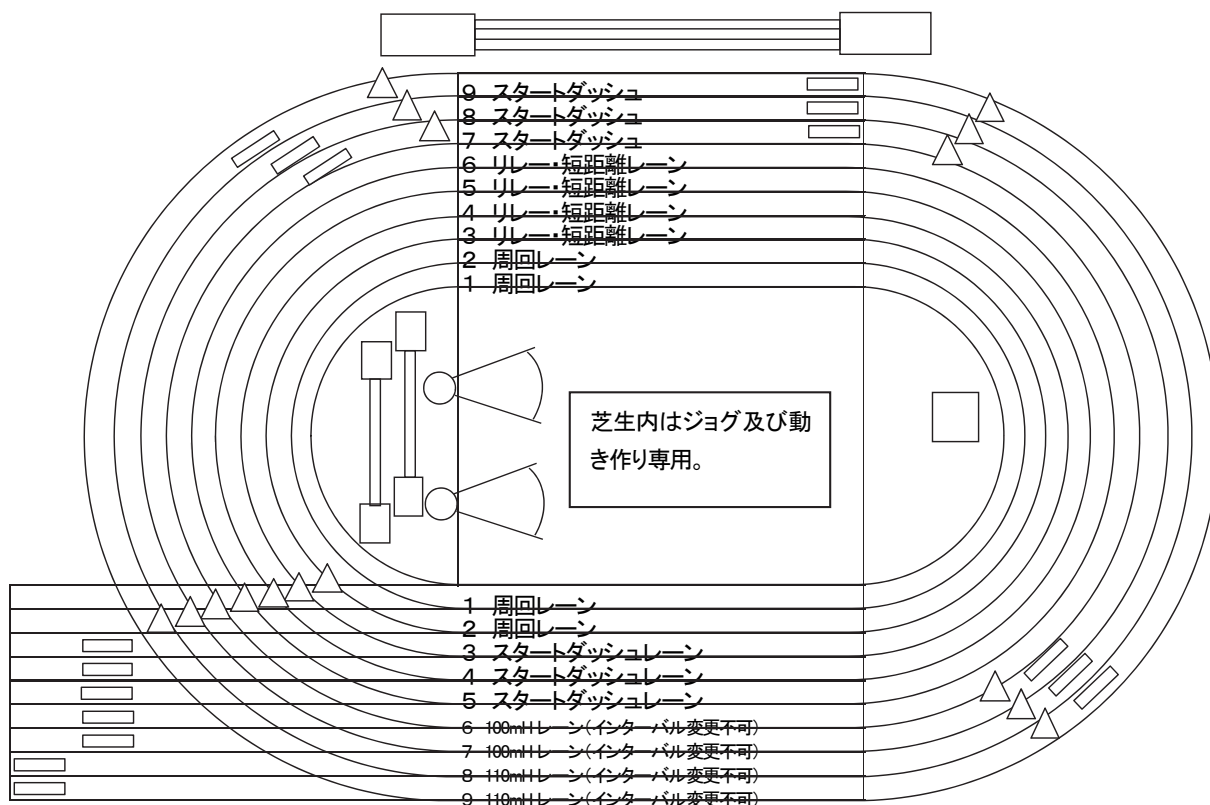
(3) フィールド内

○芝生部分でのアップを可とする。芝生部分への出入りは第4ゲートを使用し、100mスタート後方より3000m障害水濠付近を通り、周囲の安全を良く確認しながらトラックを横断する(競技役員がいる場合にはその指示に従う)。

3 注意事項

- (1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、曲走路から直線スタートダッシュレーンへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員の指示に従い、事故のないように注意する。
- (2) アップや動きづくりは補助競技場の決められた部分を使用する。
- (3) 会場内へは、備え付けの用具以外の持ち込みを禁止する(ただし、棒高跳用ポール、バトン、ストップウォッチ、ピストルは除く)。
- (4) 全天候舗装の走路は、9mm以内のスパイクを使用する。
- (5) シート、ベンチ、テントなどの設置は禁止する。
- (6) ストレッチマットなどを使用した際は、退場時に持ち帰る。
- (7) 安全確保のため、自分の走り出したレーン(曲走路)を最後まで走る。レーンを横切る場合は、左右の安全を確認してから移動する。

～本競技場の練習使用区分～



【ウォーミングアップ場：補助競技場】

1 日時

7月 16日 (土)	7:00～ 16:00
7月 17日 (日)	7:00～ 16:40
7月 18日 (月)	7:00～ 15:20

2 使用方法

(1) ホームストレート

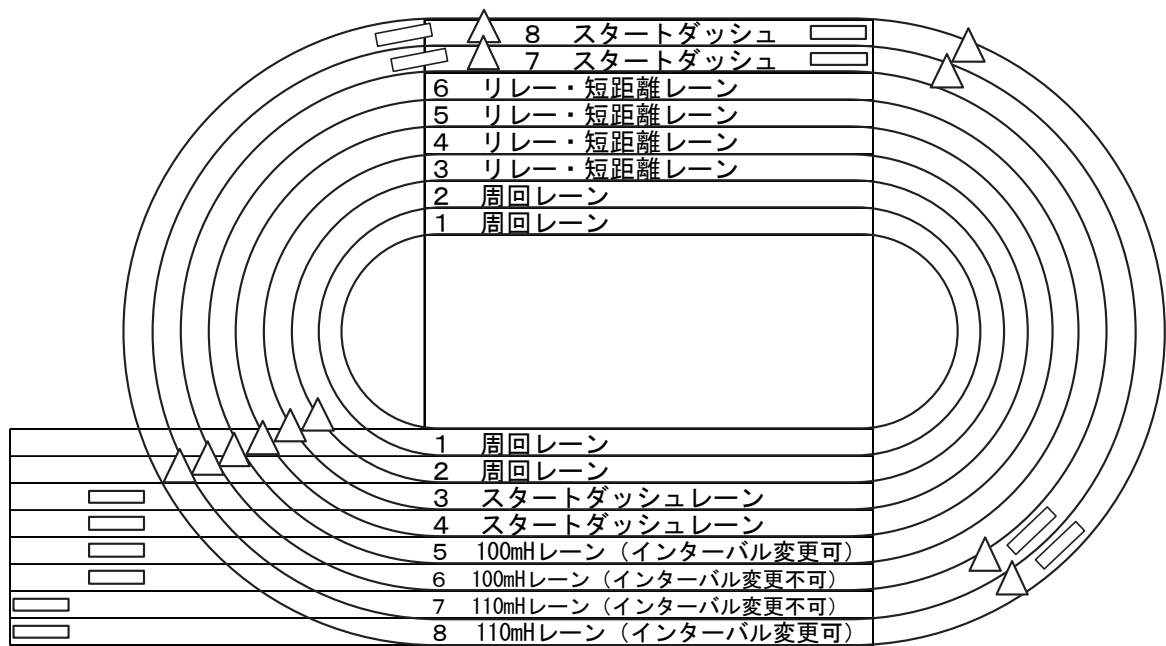
- 1～2レーン 周回練習レーン (アップやペースの遅いジョギングはトラック 8レーン外側で行う。)
- 3～4レーン スタートダッシュレーン スターティングブロック設置
- 5～6レーン 100mH練習レーン スターティングブロック設置
- 7～8レーン 110mH練習レーン スターティングブロック設置

※5レーン・8レーンはインターバル変更を許可するレーンとする (レーンの横断には十分注意し使用後は元に戻す)。

(2) 第1曲走路～バックストレート～第2曲走路

- 1～2レーン 周回練習レーン (アップやペースの遅いジョギングはトラック 8レーン外側で行う。)
- 3～6レーン リレー・短距離レーン
- 7～8レーン スタートダッシュレーン スターティングブロック設置

※事故防止のため、3～8レーンにおいては、第2曲走路からホームストレートへ走り込むことを禁止する。同じく、7～8レーンにおいては、第1曲走路からバックストレートへ走り込むことを禁止する。



(3) ハードル練習優先時間帯について

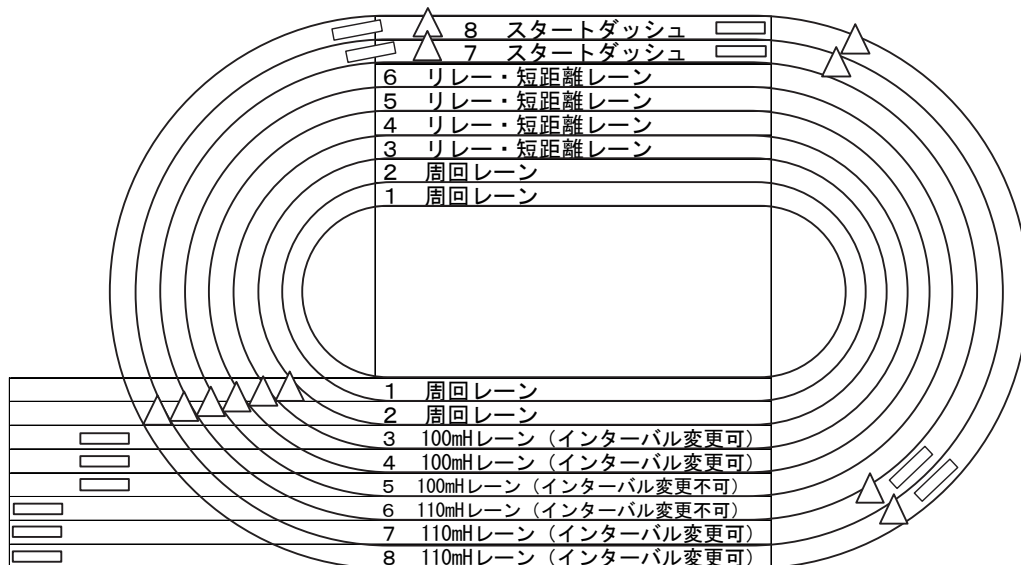
競技実施期間中、次の通りハードル優先時間帯を設ける。

①日 時

7月 16日 (土)	7:30 ~ 10:10
7月 17日 (日)	10:30 ~ 13:40
7月 18日 (月)	8:30 ~ 10:20

②上記の時間帯は、ホームストレートの3～5レーンを100mH、6～8レーンを110mH 優先とする。

③インターバルの変更を許可するレーンは、100mH は3・4レーン、110mH は7・8レーンとし、5・6レーンは固定とする (レーンの横断には十分注意し使用後は元に戻す)。



(4) リレー練習優先時間帯について

競技実施期間中、次の通りリレー優先時間帯を設ける。

①日 時

7月 18日 (月) 13:20～ 14:30

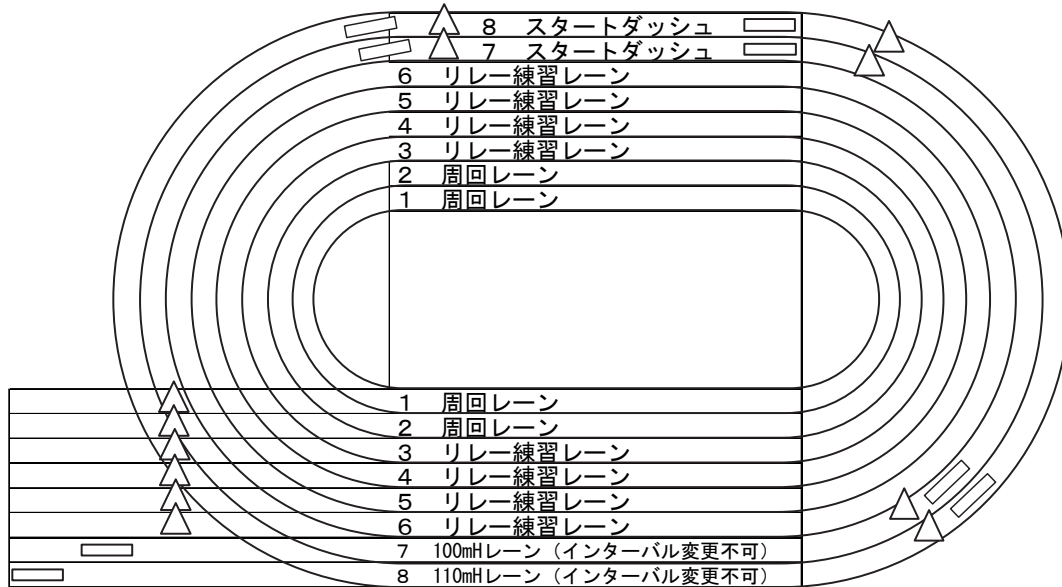
②上記の時間帯は、3～6レーン全域をリレー優先とする。

③この時間帯は、直線レーンにおいてスタートダッシュ練習はできない。

④ハードル練習レーンは次のように設置する。

7レーン…100mH、8レーン…110mH

ただし、7月18日(月)12:50よりハードルを撤収し、7・8レーンを短距離スタートダッシュ練習レーンとする。



(5) フィールド内

①芝生部分は、ジョグや動きづくり、流しなどの目的にのみ使用を認める。ただし、使用は矢印の方向のみとする。

②走幅跳は、ホームストレート外側において、次の日程で設置した方向へ1ピット使用できる。

7月 16日 (土) 7:30～ 15:30

7月 17日 (日) 7:00～ 16:00

7月 18日 (月) 7:00～ 12:50

【走幅跳優先時間帯】

7月 16日 (土) 女子走幅跳予選出場者 7:00～ 8:50

女子走幅跳決勝出場者 11:50～13:10

7月 18日 (月) 男子走幅跳予選出場者 7:00～ 8:20

男子走幅跳決勝出場者 11:20～12:40

③走高跳は、第1曲走路内において、1ピット使用できる (接触に気をつける)。

【走高跳優先時間帯】

7月 16日 (土) 男子走高跳予選出場者 7:00～ 9:30

女子四種競技出場者 10:30～12:20

7月 17日 (日) 男子四種競技出場者 7:00～ 8:40

女子走高跳予選出場者 9:00～10:50

男子走高跳決勝出場者 12:10～13:40

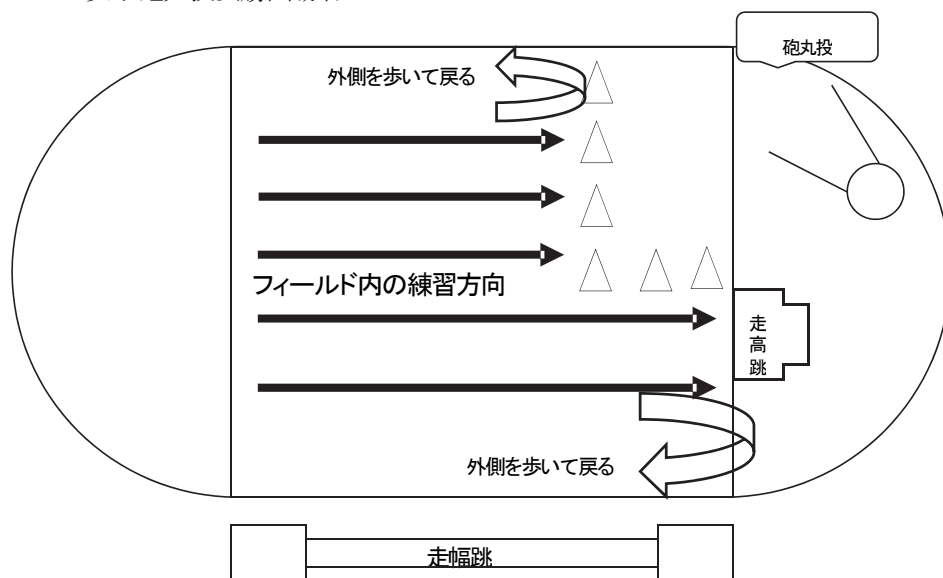
7月 18日 (月) 女子走高跳決勝出場者 9:10～10:40

④代理を立てての順番待ちは禁止する。

⑤投てきは1ピット使用できる。

【砲丸投優先時間帯】

7月16日(土)	男子四種競技出場者	10:40~12:10
7月17日(日)	女子四種競技出場者	7:00~8:50
	男子砲丸投予選出場者	8:50~10:40
	男子砲丸投決勝出場者	13:20~14:50
7月18日(月)	女子砲丸投予選出場者	7:00~8:50
	女子砲丸投決勝出場者	11:20~13:00



3 注意事項

- (1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、曲走路から直線スタートダッシュレーンへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員の指示に従い、事故のないように注意する。
- (3) 会場内へは、備え付けの用具以外の持ち込みを禁止する（ただし、バトン、ストップウォッチ、ピストル、砲丸は除く）。
- (4) 全天候舗装の走路は、9mm以内のスパイクを使用すること。ただし、走高跳においては12mm以内のスパイクを使用することができる。
- (5) 補助競技場内の練習は、当日試合のある選手を最優先とする。そのため、優先時間帯を設け、その時間内は、該当する試合のある選手のみ行うことができる。翌日の試合に備えての練習については、優先時間外で練習を行う。
- (6) シート、ベンチ、テントなどの設置は禁止する。ただし、ストレッチマットなどの使用は認めるので、係に申し出る。
- (7) ストレッチマットなどを使用した際は、退場時に持ち帰る。
- (8) 安全確保のため、自分の走り出したレーン（曲走路）を最後まで走る。レーンを横切の場合は、左右の安全を確認してから移動する。